

あおぞらだより

第121号 (発行/平成25年6月)

外食にいつてきました
新任紹介

孤 独

江戸川病院院長 新村ヨシオ



人間は感情の動物である。一時的な反応として喜・怒・哀・楽の情動と持続的な不安、緊張・抑うつと言った気分に分けられる。孤独も感情であり、長期間維持されるものである。他人に疎外されなくても、孤独感は持続するもので、人によっても孤独の内容も変わってくる。学校や職場で楽しい生活を送っていても、秘密や隠し事が多いと集団に溶け込めず、一線を画してしまい、よそよそしく

なって孤立してくる。当事者は敏感になっているのでさらに心を閉ざしてしまい、雑談の中にも加われなくなり、疎外感が強くなる。人生の悩みだって他人には口外できないし、自身の価値観にそぐわない事柄や、心の負担となることを押しつけられても、他人には話せないことが多く、自身が背負わなくてはならず、孤独になることが多い。苦悩や重圧は世間に公にできることは少なく、その数が多くなれば多くなる程孤独になってしまう。

人生で孤独にならない人は皆無であろうと思っている。とくに思春期には自分探しをすることが多く、その過程で自己卑下が強くなって、劣等感の塊になる時期なのに誰にも相談できず、悩みもがき孤独感が最も強い期間である。理想と現実の両極端に向き合い、現実の自己を受け入れ難く葛藤ばかりが大きくなって、他人には相談できず、かと言って妙案は浮かんでこない。

職業選択ひとつにしてもなかなか決定できない。他人の振る舞いは元気で明るく見えるし、他者との比較で自己の無価値さが浮き彫りになって、絶望感が漂って独りよがりになり、希死念慮に繋がりが悪循環になる。こんな時に同じ価値観を持った友人や先生に出会って、彼らが悩みを解決してくれれば、孤独感から開放されることもある。しかし、実際はそんな幸運とはなかなか巡り会えず、大多数は暗黒期を経験するのである。この体験が成人になって忍耐力をつけてくれるのである。

孤独は男性の方が強く味わうであろう。女性でも社会進出し、地位も向上しつつあり、重圧下で労働している人も多く、孤独を味わっているはずだ。しかし、女性は話術が上手で孤独を回避する術を持っている。一般的に、男性は他言を罪悪と考えたり、弱味を見せたくないという自尊心もあり、自分で解決しようとする。立場や責任も重くなってくると、不合理なことでも呑み込んで別な人格になって無理を通さなくてはならない。当然、部下や同僚からも激しい抵抗に遭い、身も心も疲弊してしまう。家族のためにと頑張って、仕事ばかりして家庭を顧みないと責められ、息抜きすればお父さんだけ楽しんでと非難的になってしまう。それでも父親は会社に行かねばならず孤独感を一層募らせている。孤独は男の定めであるが.....

孤独は精神的にも打撃を与える。孤独は一気に晴れることがないからである。ひとりぼっちという感情は受け入れ難いので、本当に重圧がのしかかっている。昇進すればする程人は遠ざかり、気がついたら気心の知れた仲間は居なくなつたと聞くことが多い。組織の頂点に立てば孤独の極みであろう。上層部と言えども建前では会社に忠誠を誓っていても、本音は出世を望む集団なので、それぞれが虎視眈々と出世を狙っており、孤独や7人の敵と闘っているはずだ。政治や経済も地球規模で瞬時に変動しているので、一流企業でもいつ倒産するとも限らず、内外事情とも気が抜けず、不確実性社会の中で責任を求められ孤独感で苦しんでいると推察する。自身は小企業の代表者であるが、医療や介護行政の変革に振り回され、先の見えぬ将来に孤独感を強めている。



外食に行ってきました



当日は天候にも恵まれ、かねてから計画していたみずき公園への散歩、はな膳の食事会へ行ってきました！公園では院庭には咲いていない花も見ることができ、皆様の良い気分転換になったのではないのでしょうか。食事会ではお寿司を頂いたのですが、皆様大満足！五月の風を感じながらのお出かけでしたが、また季節の変化を楽しみに皆で行きたいです。わ3-2 病棟の誕生会は近隣の飲食店でおこなっています。今回はマクドナルドとガストの2班に分かれ出かけました。徒歩での移動なので、季節によっては、遠くまではいけません。外食の行事を楽しみにされる患者様も多く、今回も笑顔で過ごされました。

新任の職員を紹介します。

医局

精神科医
堀内健太郎
徳増卓宏
内科医
新村健介

医療相談室
精神保健福祉士
赤塚英二

看護部

看護師

山住八重子

准看護師

逆井美枝子
森山さやか

看護助手

井上将大
萩原妙子

作業療法室

作業療法士
佐藤寿美
的崎聰美

栄養部

管理栄養士
後藤裕美

よろしく申し上げます。

今月の脳トレ!!!

今月は難読漢字に挑戦。
ヒントは鳥です。

前回の答え：① 8、② 3

- ① 時鳥
- ② 雲雀
- ③ 啄木鳥
- ④ 家鴨
- ⑤ 木菟

院内クールビズのお知らせ

暑い季節がやってきます。当院でも暑さ対策、節電対策として、5月中旬からクールビズを実施しています。冷房は28℃に設定しています。患者様については適時適温の環境でお過ごしいただいております。併せて、職員の服装もTシャツ可としています。ご協力お願いいたします。

江戸川病院 6月 院内行事予定

誕生会

3-2棟	6月5日(水) PM2:00~	病棟
D棟	6月22日(土) PM2:00~	D棟訓練室
E棟	6月22日(土) PM2:00~	6Fホール
2-2棟	6月24日(月) PM2:00~	病棟
1棟	6月25日(火) AM10:00~	病棟
2-1棟	6月29日(土) PM2:00~	病棟

さくらんぼシアター 6月11日(火) PM2:00~ ひまわり

編集後記

新年度がスタートしてはや二か月が過ぎましたが、今回は新人職員の紹介を遅ればせながらさせていただきました。慣れていない点も多くあると思いますが、よろしくお祈りします。夏本番まであと僅かとなり、うだるような暑さがいずれ到来すると予想されますが、新人職員のフレッシュさが当院のさらなる活性化につながり、この夏も一丸となって乗り切っていくことが出来るでしょう。
(医療相談室)

『あおぞらだより』に関するご意見・ご感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。

(内線 238)

医療法人社団 全生会 江戸川病院

〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
電話 04-7124-5511 (代)
<http://www.edogawa-hp.com>